

# 平成 24 年度事務事業評価調書

事業コード	02060402	区	分	<input type="checkbox"/> 実行	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	
事務事業名	老人憩いの家改築補助事業	担当部署名	健康福祉課福祉・子育てグループ			
		作成責任者職氏名	課長 尾谷 義彦	内線	340	
第4次総合計画体系	(基本柱)	(基本施策)	(細施策)			
	02健康・福祉	06地域福祉の推進	04やさしい心配りのむらづくり			
実施期間	<input type="checkbox"/> 単年 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (昭和58年度～ 年度)		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助等		
根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	法令等の名称	老人憩いの家建設事業補助金交付要綱	義務付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

## I 事務事業の概要<Plan>

(1)事務事業の目的及び内容	(2)対象(誰を対象とするのか)
<p>①目的</p> <p>老人福祉及び地域福祉の向上に資することを目的とする。</p> <p>②内容</p> <p>老人憩いの家を建設・増改築及び集会所の増改築しようとする地区に対し予算の定めるところにより、老人憩いの家建設事業補助金を交付する。</p>	<p>各地区</p>
(3)期待される効果(本事業によって対象者をどのような状態にしたいのか)	(4)事務事業を進める上での課題や問題
<p>建物整備の充実</p>	<p>増改築の取り扱いの見直し</p>

## II 事務事業の実施<Do>

(1)事務事業の事業費及びコスト費								
		22 年度 実績	23 年度		24 年度 事業費(見込)	25 年度 事業費(見込)		
			事業費(予算)	実績(見込)				
事業費(見込含む)(千円)(A)		1,999	0	0	0	0		
財源内訳	国庫支出金							
	府支出金							
	分担金・負担金							
	使用料・手数料							
	起債							
	その他の特財							
	一般財源	1,999	0	0	0	0		
人件費	一般職員所要人員(人)(B)	0.05	0.00	0.00	0.01	0.01		
	一般職員人件費(平均給与×(B))(千円)(C)	311	0	0	62	62		
総コスト費(千円)(A+C)		2,310	0	0	62	62		
人口あたりコスト(円)		375	0	0	10	10		
(2)成果指標等								
番号	指標区分	指標名称	単位	23 年度			24 年度 目標値	25 年度 目標値
				目標値	実績値	達成率(%)		
①	目標指標							
②	目標指標							
③	目標指標							

### III 事務事業の評価<Check>

(1)成果の自己検証		
評価項目	評価結果	評価の理由及びその考え方
①妥当性 ※施策の目的が村の政策体系に貢献しているか	3 4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	老人福祉及び地域福祉の向上を図ることができる。
②有効性 ※期待された効果が得られているか	3 4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	老人福祉及び地域福祉の向上を図ることができる。
③効率性 ※効率的に進められているか	3 4. 非常に効率は良い 3. 概ね効率は良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	平成23年4月1日から補助対象の見直し(増改築の補助を廃止)
④公平性 ※受益や負担が公平になっているか	3 4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	申請された地区全てに審査のうえ補助をしている。

○事務事業評価値 (①~④の合計/16) **12** / 16 **75%** (B)

(2)検証結果			
目標指標評価値 (A)	事務事業評価値 (B)	総合評価値 (A)+(B)/2	評価ランク(改善の目安)
<b>#DIV/0!</b>	<b>75%</b>	<b>#DIV/0!</b>	<b>b</b>
a: 90%以上(現状維持又は拡充) d: 30~49%(休止・廃止又は縮小) b: 70~89%(見直し又は現状維持) e: 30%未満(休止・廃止) c: 50~69%(縮小又は見直し改善)			

### IV 事務事業改善の方向性<Action>

(1)改善の方向性	
①改善の方向性(自己評価)	← A:拡充 B:現状維持 C:見直し D:縮小 E:休止・廃止
<b>B</b>	
②改善の方向性の理由、改善する上での具体的な改善策や課題等	
地域福祉活動の拠点であり、また避難所指定もされていることから、引き続き施設整備による福祉の向上を図る必要がある。	

### V 事務事業評価結果(担当者は記入しないでください。)

(1)政策担当結果		
(2)第三者による有識者会議結果	(3)行政経営戦略会議結果	
老人福祉、地域福祉の向上に必要であり、引き続き実施すべきと考える。	<b>B</b> A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止	<b>B</b> A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
老人福祉、地域福祉の向上に必要であり、引き続き実施すべきと考え	<b>B</b> A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止	<b>B</b> A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止

七八番地、地蔵番地の上にお返しのため、下記概に大抵のことがわかる。

U	元止し
D	縮小
E	休止・廃止

(2/2)